

# 4泊5日の旅！？

2003年7月20日

今月の12日(土)、K内科に緊急入院！！ (>\_<)

数日前から頭は痛かったんだけど、12日は寝てる間もズキズキしてて、起きてからは、目を開けてられないほどの頭痛と吐き気！！どうしようも無く、看護婦さんと呼び「入院する」との連絡を病院に入れてもらいました。しかし、病室がいっぱいで開いてるベッドがじ~ちゃんの部屋しかない。それに、そのじ~ちゃん夜中に叫ぶっていうからちょいと悩んだんだけど、具合悪いのには勝てず、「耳栓買って行くから、ヨロシク！」と言って、お祭り準備に来たY田さんに、入院準備を手伝ってもらい夕方入院。エレベーターが無いもんだから車椅子を訳の分からない機械に固定し、シートベルトをして何やらジェットコースターに乗るような気分で2階へ…(怖いような、楽しいような複雑な心境)

病室は、じ~ちゃんの部屋じゃなく一人部屋を用意しておいてくれました。17年前に退院してから何度か救急車で運ばれ短期入院を繰り返して来ましたが、今回の入院は6年振りくらいで、本当に久しぶり！！それも最短記録の“4泊5日” (^\_^)v

救急車で運ばれるような重症じゃないけど“過労&ストレス”のようです。「とりあえず、ゆっくり休養を…」という事で、心と身体を休ませる事にしました。でも、あまりにも人の出入りが多いもんだから看護婦さんに、「面会謝絶にするか面会時間を制限しますか？」って言われ「大丈夫です！」って答えただけど、数的には少ないが人の出入りや電話連絡は、家にいる時とあまり変わらなかったかも？

麻瑚ちゃんと熱帯魚の世話は、町内の仲良しさんに頼んで行きましたが、途中から麻瑚ちゃんはヘルパーステーションへ。いつも来てくれるヘルパーさん達みんなで、麻瑚ちゃんの世話をしてくれていたそうです。(ありがとう！ m(\_\_)m)

訪問看護の看護婦さんが、病院側に私のお願いを話しておいてくれました。それは、「朝ごはんは食べなくてもいいから、ゆっくり寝かせてほしい。」って事なんだけど、病院側からすれば、わがままな患者ですよネ。それなのに退院するまで皆、「そ~！」っと、ごはんやお茶を運んだり、仲良しの訪問看護の看護婦さんは、毎朝私が寝てる間に、一杯のコーヒー(昔、一杯のかけそばというお話があったよネ。)を運んでくれました。(上手かった~！！ (^\_^)v)

友人のN田さんなんて、私が「病院のベッドが軟らかくて、腰が痛くなっちゃったヨ。」って言ったら私の家からベッドマットとふとんを運んで来てくれました。(何てこったい！！) おかげさんで、その夜はグッスリ！！朝起きたら腰の痛みも、シッブがいらぬくらい楽になっていました。 \ (^o^)/

K内科の入院患者はお年寄りばかりですが、私の印象は病院というより施設？って感じでした。看護婦さんや助手さんの患者さんに対する“声かけや対応”が、いつも行っている老人施設とかぶってしまったからかも知れません。院内は狭いんですが、雰囲気は明るいからとても居心地が良く、みんなでぬり絵をしたり、筋肉番付のストラックアウト？みたいな、ボール投げをしたりと、職員さんも色々とお患者さんが楽しめるような工夫を凝らしてるようです。

現在私は、往診・訪問看護・ヘルパーをK内科医院にお願いしていますが、緊急時の連携が行き届いている為、利用者としてはとても安心してます。今回の入院は短かったけれど、病院や訪問看護の看護婦さん、それからヘルパーさん、そして家族・友人・仲間など、本当に私は、いろんな人に支えられ助けられて、今の生活をさせてもらってるんだな~！！という事を実感しました。(何！！それは道子ちゃんの普段の行いが良いからだって??ヘッヘッ、照れるな~！！ (#^.^#))

病院やボランティアに限らず、様々な問題に対して、いろいろな機関との連携を上手く取る事が出来るようになれば、もっともっとスムーズに事が運んだり、お互い助け合う事が出来るんじゃないでしょうか？

横のつながりがたくさん出来て、困っている人がいれば自然に助け合えるような世の中になればいいナ。というのが、私の願いでもあり理想です。

まだまだ書き足りないんですが、文字数が限界です。近い内にまたつづきを…な~んちゃって。(^.^)/~~~

みなさん本当にご心配かけました。そして、ありがとうございました！！ m(\_\_)m